

# 鈴木日本新、2時間4分台

## びわ湖毎日マラソン初V

びわ湖毎日マラソンの日本新記録で初優勝した。28日、大津市の皇子山陸上競技場で行われ、一般参加の鈴木健吾(富士通)が2時間4分56秒で優勝した。従来の日本記録は東京マラソンの大迫傑(ナイキ)の2時間5分29秒。更新は3年ぶりとなった。同大会の日本勢の優勝は2002年と、17年ぶり3分を切った。



2時間4分56秒の日本新記録で優勝した鈴木健吾(左)と代表撮影した大迫傑(右)。

## 一般参加の伏兵 驚異のスパート

大迫傑が2時間5分29秒をマークしてからわずか1年で日本記録が塗り替えられた。2時間4分56秒のタイムもさることながら、自己記録が2時間10分台だった一般参加の鈴木という事実がまた驚きを与えた。

前半は向かい風になるという予想の下、「なるべく風を感じないように集団に埋もれて走った」と鈴木。25歳を過ぎて井上が一時独走態勢を築いても「このタイミングで対応すべきではない」と、隠密行動に徹していた伏兵が水面上に姿を現した。36歳だった。給水所では33秒で給水を取り損ねた直後にぐんと加速。同じ先頭集団にいた土方ら2人がドリリングを取るか目を落とす間に一気に引き離した。

そこから1キロあたり2分50秒ペースを保ち、40キロまでの5キロは驚異の14分39秒。滋賀では最後となった大会は「日本の歴史を変えるレース」(日本

## 大迫の記録、33秒更新

陸連の瀬古利彦マラソン強化戦略プロジェクトリーダーとして陸上史上に刻まれることになった。鈴木は愛媛県出身の25歳。宇和島東高から進んだ神奈川大で箱根駅伝に4度出場し、3年時に2区で区間賞。ユニバーシアードのハーフマラソンで銅メダルにも輝いた。12位に終わった昨年のびわ湖毎日の後、富士通の福嶋監督に「きやしゃ」と評された体を一回り大きくしようと、ウエイトトレーニングに注力。東京五輪代表を目指した昨年12月の日本選手権1万4000回を越える自身のマラソン歴で自己ベストを30歳まで第2集団のベイスレーカーについて安定した走りを見せ、「きやしゃ(7分台)」といけらると思ったと確信。「暑過ぎず、寒過ぎず、風もあまりなかった」という気象条件も後押しした。2019年にプロに転向し、結婚も同じマラソンランナーでもある妻、

## マラソン男子の日本歴代10傑

順位	名前	記録	年
1	鈴木 健吾	2時間4分56秒	2021年
2	大迫 傑	2時間5分29秒	20年
3	設楽 悠太	2時間6分11秒	18年
4	高岡 寿成	2時間6分16秒	02年
5	土方 英和	2時間6分26秒	21年
6	細谷 恭平	2時間6分35秒	21年
7	高久 龍	2時間6分45秒	20年
8	井上 大仁	2時間6分47秒	21年
9	藤田 敦史	2時間6分51秒	00年
10	小椋 裕介	2時間6分51秒	21年

(注)鈴木、土方、細谷、井上、小椋は今年大会でマーク

## 2時間7分台 川内念願成就

高速度レースとなった展開で、ボストン・マラソン優勝経験を持つ川内は、念願だった2時間7分台を初めてマーク。100回を超える自身のマラソン歴で自己ベストを30歳まで第2集団のベイスレーカーについて安定した走りを見せ、「きやしゃ(7分台)」といけらると思ったと確信。「暑過ぎず、寒過ぎず、風もあまりなかった」という気象条件も後押しした。2019年にプロに転向し、結婚も同じマラソンランナーでもある妻、

## 松山68、7

「アラバントン(米フロリダ州)共同」男子ゴルフの世界選手権シリーズ、ワークデー選手権

最終18番ボギー 「もったいない」

上位に迫ったが、直後のセナカッタ。まだ振り返らないうちに、最後のボギーを打つと、

## パナ大勝 日野に60-12

ラグビーのトップリーグ第2節最終日は28日、神戸ユニバー記念競技場などで5試合が行われ、ホワイト・カンファレンスは神戸製鋼がキヤノンから11トライを奪って73-10、パナソニックも9トライで日野に60-12とそれぞれ大勝利、開幕2連勝とした。リコーはヤマハは1勝1敗。マハ発動機に23-22で競り勝って初勝利を手にした。スはトヨタ自動車にNTTコムユニケーショングを47-29で振り切って2勝目を挙げた。NTTコムは1勝1敗。サントリアはホンダに31-14で勝ち2連勝となった。ホンダは2連敗。



日野戦の後半、トライを決めるパナソニック・山沢

## SO山沢、後半ミス挽回

前半の10点リードはパナソニックにとって物足りない数字だった。日野の速い守備に苦しみ、今季初出場のSO山沢もパスやキックのミス連続した。

「前半は考えすぎたので後半はシンプルにやろうとした」と山沢。ハーフタイムが明けると、まずは右のタッチライン際に浮き球を上げて味方のトライを演出。次は自らのキックを自慢のスピードで追いかけて、2トライを連取し、「誰にもまねできないプレーをしてくれた」。ディーンズ監督

## 名古屋、福岡下す

名古屋が2-1で、5名古屋が2-1に復帰した。前半は福岡に競り勝った。後半は後半にマテウスが1点ずつを決めた。福岡は終盤に1点を返したが、及ばなかった。

## マテウス冷静 2得点

名古屋のエース、マテウスが開戦戦でいきなり2ゴールを挙げ、勝利に大きく貢献した。4分、

▽ベススタ (4,991人)

福岡 1-2 名古屋

【得点】【福】82分OG【名】4分、55分マテウス①②

【警告】【福】ドウグラスグローリ、重広、志知【名】山崎、相馬

第1節

福岡戦の前半、先制ゴールを決める名古屋・マテウス

福岡戦の前半、先制ゴールを決める名古屋・マテウス

福岡戦の前半、先制ゴールを決める名古屋・マテウス



マテウスがゴールを決める瞬間